



4月14日(日)体育館で入学式が挙行された。総員六二二名。内訳は一般生が二二三名とふえ、少年工科十三名とふえ、転入生と全日制通信科からの編入生は計一二二名である。編入とは、他の課程

27年の辛酉より先33年を  
 経たず、社長として活  
 きた今日、社長を迎える

昭和60年正月、伊東  
 温泉に泊って、湘南全  
 期会を行なった。

当日は、恩師 清田 先生  
 (社会会)をお迎えし、  
 13名の出席者でありまし  
 が、8人の子持ちで當席  
 中の加藤孝雄君、おじい  
 さんになった宮崎和雄君  
 など色々の書生も、おき  
 なくならびに担任の高橋  
 孝先生ならびに物故した  
 旧友に繋ぎをさされて、こ  
 とよかに賑やかな一夜を過  
 ごしました。また翌日は  
 熱海湘浦湖などへ遊び  
 来て帰る一日の想い  
 出をつくりました。

白野節雄

以上、湘南全期会、伊東  
 温泉での再会、書いて  
 次は先生方を多勢にお  
 えて、夢のような行事  
 しようと思います。

白野節雄

八重洲口国際ホテルで  
59年10月20日午後5時から、君の開会のことば、  
34回生の卒業25周年同  
期会が、東京八重洲口国  
際観光ホテルで開かれ、  
青山・望月・斉藤・仲宗  
根の各先生担任と、岩井  
・高田の同窓生、湘友会中  
部から派遣生を迎え、参加  
のびんノ伴宴による全

11月10日、藤沢市片瀬雄・春原淳三先生が、出陣  
 海岸ホテルの島崎松久ホテル  
 で、同会を開いた。  
 同席者には達したのを記念  
 して、八年ぶりの会合  
 参加者八十八名、三期生部  
 同ホテル経営部長 三浦三郎  
 君が特別参加又加藤芳  
 雄・春原淳三先生が、出席  
 した。  
 加先生の声で乾杯。  
 形勢が変化する人、昔の  
 顔面が今も現れ人、昔の  
 ことについて語る人、  
 だ、会話がうたが、  
 たりやがて会場の中心  
 に、小グループが出現し  
 春原先生が、門柱の『  
 南中學校の拓本や、在  
 中の組別主任一紙を、  
 露されるように、皆に寄  
 せられるよ、先生に、密  
 して、一紙、一紙と、  
 くること、二時間、  
 大原順の唱を最後に、  
 残を惜しむたが、午後  
 時散会した。(書記)

59年11月22日午後一時より、同級の林幸正君が会員になってゐる有楽町の日本茶館において、同期会を致しました。原先生、渡辺

資料の寄贈一覧

9 回生入字記念写真（喜代田薫君、9 回）

卒業記念写真（養島清夫君・8  
等学校生徒、秋季演習（3枚）（山

60年1月25日(金)夕刻 50回以下の手「若手も出  
て」府庁建設、西洲支部  
總會が開かれた。本部から  
藤田富士、特設当地区に  
母村の當土、郷土、野地  
先生を招待した。義島支部  
長(8回)の支度で毎回新  
鮮な魚の料理を並べ、安  
部部長(13回)、横濱銀行  
支部長(4回)が、役員の一  
部を代表、決意書のある  
と、和仁君、9回、阪

8月11日午後6時30分開会。地元鎌倉の代表幹事の島田君がいささつし、次回は鳥沢と指名、幹事代表の石川君がいささつした。

出話に一同音を感しし。浜田先生の湘友及びの現告が終つてからは、次次に登場つて自己紹介。江口・正木・岡野・鈴

字の社会学（白眉

高木和男君（1回生・現在相模女子大講師）  
鶴沼海岸百年の歴史（菜根出版）  
食と栄養学の社会学（白眉堂）  
食からみたヤマタイ国の成立（菜根出版）

松村・中島・高野・酒神君

が 50 23 52  
 時に 恩師の蟹江先生は9月  
 起きで、毎日勉強され  
 も強い。

|           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 二君        | 沈等        | 米實        |
| 回・井島(46回) | 回・鈴木(47回) | 回・清本(22回) |
| の諸君       | 回・前川(53回) | ・椎野       |
|           | ・安藤       |           |
|           | ・相田       |           |

出した。任したこともあった。三先生から母校の現況を中心にした話があった。親子で出席の鈴木昭三



兼ねて回）、前会長の増田君（1回）。湘友会報告は参与の添田君（7回）等と五十歳

い出』の完成披露も盛大に催され、団結を示した。

吉居時哉会長は「



## 渋谷千恵磨 (36回)

## 脱サラの先覚者



(左より 鈴木・渋谷・松中・吉川)

荒 間 蒼 海

## ご退職の桜井先生を囲んで

## 45 回 33 組が賑かな会

60年3月退職された桜井睦文先生を、受け持ってもらった45回卒の旧33組の人びとが参加して、慰労感謝の会を催した。



60年4月14日(日)正午より『ななはる料亭』(辻堂駅前)に集合した。遠く水戸市・掛川市・狛江市・市川市等からはせ集い、賑やかに思い出話や、現状報告が、二次会もふくめて五時まで続く盛況だった。異色の参加者は、宮内庁勤務の最年少侍従の鈴木武君、女医の山崎(旧姓角田)広子さん達だった。

## 36 回 生 23 年ぶりの合同同窓会

卒業以来、学年合同の同窓会は一度も行なわなかった36回生が、23年ぶりに昨年11月23日、鎌倉鶴ヶ岡会館に集まった。旧師・石井先生、栗原先生、細谷先生を囲んで約、80名。直前に不慮の事故死を遂げられた石川一成先生を偲び、全員で黙禱を捧げた。旧交を温めあい、二次会、三次会と続き、再度の開催を約している。

今年も10月頃の開催を予定している。

## 青春の思い出 (26回生の集録)

## 3 百 ページ A 5 版

A 5 版 300 ページ。58 年暮の合同幹事会で事務局案の内容が、具体化に向かい、刊行委員会が設けられた。加藤恵・郷原敦・渡辺享君の3君が心血を注ぎ、3 百名の級友もよく協力して見事に完成した。中1から高3までのドキュメント。湘高祭の特集、野球部の全国制覇の座談会。文化部運動部を網羅したクラブ活動。『あの頃』と題して各人の寄稿。写真・挿絵も豊富で、年譜まで加えられ、湘南中学・高校にとっても貴重な歴史的資料である。



## 茅ヶ崎支部総会

(59.10.27)

## ゑびす会

加藤・添田・喜代田先生を迎えて (60.1.14)

## 《新聞部よりお願い》

昨年、縮刷版発行準備のため、欠番の新聞の貸付をお願いしたところ、新井明氏(25回)、松岡敏氏(28回)からご協力いただきました。お礼申し上げ、更に次の号をお願いいたしたく存じます。 30・33・34・39・51・54・55・56・57・60~68・82・90・96~98